

## 「シリーズ平和教育学」オンライン講座案内 (2025年1月)

元京都教育大学教員 村上登司文

## 【講座の概要】

世界各地で紛争や戦争が続き、情報の不確実性が増すとき、平和教育の役割を学術的に明らかにすることが必要となっています。一方、戦争体験者が不在化する中で、平和教育の実践方法を若い教員に継承することも必要です。2023年7月からシリーズで開講している「平和教育学」オンライン講座について、2025年1月に第4回の講座を開講します。なお、第3回の講座は2024年7月に実施しました。

## 2025年1月の実施テーマ

- |      |               |
|------|---------------|
| 1/17 | ①平和教育の今日的課題   |
| 1/24 | ②平和教育の授業づくり   |
| 1/31 | ③研究報告会方式のセミナー |

## 【講座の日程】

2025年1月の金曜日(3回) 受講時間:午後5時~6時

オンライン予定は1月17日、24日、31日。

★一部のみの受講も可能です。

## 【受講対象者】

平和教育に関心がある学生・院生、学校教員、元教員、社会人など

## 【講座の受講方法】

オンライン配信:Zoomによるオンライン講座(約1時間)を行います。

①と②は前半の30分は村上がプレゼンし、後半の30分は受講者との交流の予定です。

## 【受講料】 無料です。

【申込方法】2025年1月12日までに、右QRコードまたは  
下記URLから、フォームでお申し込みください。

<https://forms.gle/6zkXUzV2hwZG23abA>

※ 講座申込者に、2025年1月15日までに、Zoomの接続情報メールを配信します。



## 【講座内容の予定】

## 1月17日 平和教育の今日的課題

・今の平和問題を、子どもたちにどのように教えれば良いのでしょうか。日本の平和教育においては、80年前の沖縄戦や広島・長崎で原爆などの戦争経験について話を聞くことが主流になってきました。しかし、戦争を語る方も高齢化し不在化が進んでいます。他方で、ウクライナ戦争やイスラエル・ガザ戦争は現在も進行しています。古きに学び、新しい状況に対応する平和教育実践をつくらなければなりません。昔の日本の戦争を、今起こっている平和問題に、平和学習でどう繋ぐのか探ります。

## 1月24日 平和教育の授業づくり

・2025年は第二次世界大戦後80年目となります。平和教育において日本の戦争体験の継承は、最も重要な学習課題です。しかし、子どもたちの多くは、第二次大戦の戦争体験を自分たちにはあまり関係のない昔話や思い出話としてしか聞いていません。そうした今の時代状況において、「戦争を知らない教師」たちは、平和教育をどのように行えば良いのでしょうか。「平和教育の授業づくり」のHPを参考にして、平和教育の実践方法を提案します。

## 1月31日 研究報告会方式のセミナー

・3・4名の平和教育の研究報告をしてくださる方を募集します。報告者は15分の研究報告を行い、続いてそれに関して質疑応答を行います(報告15分、質疑応答15分、計30分)。学会大会での「平和教育分科会」での自由報告のあり方をよりフランクにした会をイメージしています。平和教育研究について、各研究報告を基に参加者が意見交流し、報告を媒介として平和教育研究が深化することを期待しています。

## 【今までの「シリーズ平和教育学」のHP】

<https://peace-education.info/murakami/SeriesPES/2023KozaIndex.htm>